

I 事業の実施状況 【公益目的事業】

公1 技術振興事業

1. 技術者等育成事業

(1) 技術研修事業

地域企業の人材育成のため、機械設計や通信システム設計などの能力開発セミナーを行う機関の技術研修等の受講に要する費用の助成をした。（講座数:32、受講者数:64名）

分野	セミナーコース名	実施日	会場	人数
機械設計	切削加工を考慮した機械設計製図	6/23～24	樽	1
	機械設計のための総合力学	7/13～15	樽	2
		1/11～13	樽	1
	実践機械製図(3次元CAD編)	7/25～26	樽	3
	3次元CADを活用したアセンブリ技術	8/4～5	樽	1
通信システム設計	製造現場におけるLAN活用技術	12/15～16	札	1
	VLAN間ルーティング技術	3/22～23	樽	3
制御システム設計	IoT機器を活用した組込みシステム開発技術	10/12～14	札	4
		3/15～17	札	1
	PLCによる位置決め制御技術	11/8～9	樽	1
	シーケンス制御による電動機制御技術	11/10～11	札	1
	油圧実践技術	11/10～11	札	1
	PLCプログラミング技術	12/5～6	札	1
	PLC制御の応用技術	12/19～20	札	1
生産システム	組込みシステム開発向けコーディング技術	9/29～30	樽	1
生産性向上支援	業務に役立つ表計算ソフトの関数活用	10/7	札	1
	効率的なOJTを実施するための指導法	10/18	札	1
	ピボットテーブルを活用したデータ分析	11/9	札	1
	効率よく分析するためのデータ集計	12/6	札	6
	表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化	12/7～9	札	7
機械加工	旋盤加工技術	7/7～8	札	1
	フライス盤加工技術	9/14～16	樽	3
	マシニングセンタ加工技術	11/17～18	札	3
金属加工	溶接作業改善のための施工実践	9/10～11	樽	2
	TIG溶接技能クリニック	10/20～21	札	1
測定検査	精密測定技術(長さ測定編)	6/15～16	樽	1
	精密測定技術(技能検定機械検査作業1・2級対策)	11/10～11	苫	4
材 料	鉄鋼材料の熱処理技術	6/25～26	樽	3
生産設備保全	低圧電気設備の保守点検技術	6/21～22	樽	1
	現場のための電気保全技術	10/17～18	札	2
工場管理	実験計画法を活用した生産プロセスと品質の改善	9/15～16	札	1
	生産プロセス改善のための統計解析	11/10～11	札	1
	問題解決手法を活用した製造現場の業務分析と現場改善	1/16～17	札	1
	EVM(アーンド・バリュー・マネジメント)実践	2/27～28	樽	1

会場 札:北海道職業能力開発促進センター(ポリテクセンター北海道)札幌市

樽:北海道職業能力開発大学校(ポリテクカレッジ)小樽市

苫:苫小牧市テクノセンター

(2) 技術人材研修助成事業

地域内企業、研究者などが人材育成及び技術習得のため、道内外の研究・研修機関が実施する研修会等に技術者等を派遣するために要する費用の一部を助成した。

対 象 者	研修内容	助成額(円)
(株) シーヴィテック 北海道	人材定着の考え方・進め方 (中小企業大学校旭川校主催)	38,813
北海道中央葡萄酒 (株)	令和4年度道産ワイン品質強化研修事業 (北海道主催)	60,178

(3) 専門家派遣助成事業

地域企業の経営や生産技術に関する課題解決などを図るため、専門的知識と実務経験を有する専門家の指導、助言を受けるために要する費用の一部を助成した。

対 象 者	指導・助言内容	助成額(円)
日生バイオ (株)	北海道大麦若葉エキス末(青汁)の一般食品向け レシピ開発	150,000

2. 研究開発事業

(1) 新技術・新製品開発助成事業

地域企業の技術開発・生産技術の促進を図るため、新技術・新製品等の開発、試作品の製造及び生産工程の合理化・高度化等に要する費用の一部を助成した。

対 象 者	事 業 名	助成額(円)
(株) 岡田建具製作所	継続的な新製品開発の仕組構築による生産工程 の合理化	1,300,000
岩倉化学工業 (株)	持続可能な材料(廃棄物)を活用した新規建材の開発 (大形状ジオポリマーボードの低圧熱プレス成型技術の確立)	1,500,000
梨木工業 (有)	割付おまかせテープ販売管理システム開発	1,500,000
フードテクノエンジニア リング (株)	シャインマスカットの長期保管に向けた技術開 発	1,500,000

(2) 技術開発の芽育成助成事業

地域企業の技術開発の促進を図るため、製品等の研究開発を行う上で、課題解決に必要な試作完了までの基礎調査、情報収集及び開発検討に要する費用の一部を助成した。

対 象 者	事 業 名	助成額(円)
日生バイオ (株)	未熟(摘果)トマトの高付加価値化加工方法の開 発	500,000
(株) 電気工事西川組	C-O-C-G-Rの製品開発 (小型過電流・漏電電流継電器)	329,693
協和製菓 (株)	若年層への新製品拡販事業 (セカンドブランドの立ち上げ)	480,000
(有) プロセスグループ 夢民舎	コラーゲン入りナチュラルチーズの新規開発	500,000

3. 技術高度化事業

(1) 産業力強化支援事業

ものづくり基盤技術の高度化を図るため、地域企業の経営状況などを掌握し、技術等の相談に応じるとともに各種支援制度の相談や支援など、コーディネート活動を実施した。

地域内企業への訪問等 延べ 365 件

(2) 技術交流事業

ものづくり活動の活性化のため、協議会やセミナーなどに参加し、情報の収集や交換を行い、産学官による情報交流・技術交流を実施した。

〈主な情報交流・技術交流〉

- ・ 苫小牧地区企業誘致連絡協議会
- ・ 苫小牧地域産学官金連携セミナー
- ・ 苫小牧東部開発連絡協議会
- ・ 苫小牧高専地域連携シンポジウム 2022

(3) 苫小牧地域産業力強化事業（苫小牧市補助事業）

苫小牧地域の技術高度化や技術開発の促進を図るため、苫小牧商工会議所と連携を図りながら、立地企業との連携や交流活動を推進し、地域の産業力強化への支援を行った。

①地域産業支援事業

名 称 等	実施日	実 施 内 容
事業周知活動	R4. 4. ～	財団事業周知用パンフレット等の作成・配布及び企業訪問、ホームページ等による周知活動を実施
産業支援 (情報提供・相談等)	R4. 4. ～	技術開発、製品開発、サービス開発等を計画する事業者に対する情報提供、相談受付、専門機関への取次ぎ等の各種支援を実施
産業支援事業説明会	R4. 4. 22	「産業支援事業」説明会の開催（苫小牧市、苫小牧地域産学官金連携実行委員会との共催）

②苫小牧地域産学官金連携事業

名 称 等	実施日	実 施 内 容
総 会	R4. 7. 6	苫小牧地域産学官金連携定期総会（苫小牧ホテルウイング）
講演会	R4. 11. 22	苫小牧地域産学官金連携セミナー（苫小牧ホテルウイング）
	R5. 3. 24	苫小牧地域産学官金連携セミナー（苫小牧経済センター）
G K K※活動	R4. 4. 19 等	学官金の実務担当者による情報交換を通じて、ものづくり企業への各種支援制度の活用や技術情報の提供など、様々な相談に対応（G K K 9 回開催）

※G K K：ものづくり企業活性化チーム 学・官・金 - 道央圏

(4) 地域企業の先端技術人材確保・育成等支援事業（北海道補助事業）

北海道のものづくりの基幹産業である自動車関連産業を主体とし、食関連産業、I T 関連産業を含めたものづくり産業に関わる地域企業のデジタル化に向けた支援や専門人材の確保・育成を支援するため、企業訪問等を行い、ニーズや課題の把握、相談・指導の実施、技術等に関する調査や助言・指導などを実施した。

企業訪問、相談・指導、関係団体との打合せ等 延べ 169 件

公 2 地域産業活性化事業

1. 経営支援事業

(1) 経営管理支援事業

地域企業等の経営力の向上を図るため、人事・労務等の実務などに関するオンラインセミナーの案内送付やHPの掲載などにより周知をした。また、大規模災害等の発生において重要業務が継続できるよう備えるため「事業継続計画等策定セミナー」を開催したほか、事業継続計画(BCP)策定支援(安平町1事業所)、事業継続力強化計画策定支援(苫小牧市3事業所、千歳市1事業所)を行った。

名 称 ・ 講 師	開 催 日 時 ・ 場 所	参加人数
事業継続計画策定セミナー 「事業継続力強化計画と事業継続計画」 講師 中小企業支援アドバイザー 早坂 展 氏	令和5年2月10日 千歳アルカディアプラザ 1階 多目的ホール	15 名

(2) 市場拡大等支援事業

製造業等を営む中小企業者が、国内で開催される各種展示商談会への出展を通じて、市場拡大及び販路開拓等の機会を確保するため、出展に要する費用の一部を助成した。

① ビジネスEXPO「第36回 北海道技術・ビジネス交流会」

会 期 令和4年11月10日・11日
会 場 アクセスサッポロ(札幌市)
入場者数 32,943名(うちWeb閲覧者9,086名)
出展企業 苫小牧市:北海道曹達(株)、フードテクノエンジニアリング(株)
恵庭市:(株)岡田建具製作所

② FOOD STYLE Japan 2022

会 期 令和4年9月28日・29日
会 場 東京ビッグサイト(東京都江東区)
入場者数 32,825名
助成企業 苫小牧市:協和製菓(株)

③ FOOD STYLE Kyushu 2022

会 期 令和4年11月9日～10日
会 場 マリンメッセ福岡(福岡市博多区)
入場者数 15,541名
助成企業 安平町:(有)プロセスグループ夢民舎

④ 第57回スーパーマーケット・トレードショー2023

会 期 令和5年2月15日～17日
会 場 幕張メッセ(千葉県千葉市)
入場者数 62,525名
助成企業 千 歳 市:(株)肉の山本、(株)箱根牧場、北海道ニッツウサービス(株)、
岩田醸造(株)

2. 製品開発支援事業

(1) 製品開発助成事業

地域の企業等が有する技術の応用による製品化及び商品化を行うため、商品開発や販路拡大などに要する費用の一部を助成した。

対 象 者	事 業 名	助成額(円)
(株) マルカツ製麺	色付き餃子の皮の開発	373,145

3. 地域産業活性化事業

(1) 地域の「人材」と「技術」を繋ぐネットワーク活動への支援

地域の活性化を図るため、地域の「人材」と「技術」を繋ぐネットワークによるものづくり等の研修・研究活動、ものづくりに関わる人材を育てる活動等を支援するとともに、事業に要する費用の一部を助成した。

対 象 者	事 業 名	助成額(円)
苫小牧発明研究会	自然と遊ぼう！エコ遊び！発明&デザイン 「地域宝おこし」	100,000
安平町誘致企業会	安平町誘致企業会「経済セミナー」 ～ 北海道の明日を創る ～	100,000

(2) 異業種交流の支援

安平町誘致企業会の「経済セミナー」～ 北海道の明日を創る ～では、旭川市を拠点として道産木材を使用した家具をデザインから製作・販売まで手がける株式会社カンディハウスの藤田代表取締役会長を講師に迎え講演を行った後、参加された方々との異業種交流を実施した。

【その他事業】

苫小牧市テクノセンター管理運営事業

苫小牧市の委託事業として、苫小牧市テクノセンター利用許可申請書等の受付業務、使用料等の徴収業務、経理事務等の業務を実施した。